

市場移転に関する関係局長会議 議事録

平成29年6月22日（木）
開会14時00分、閉会14時16分
都庁第一本庁舎7階大会議室

(長谷川政策企画局長)

ただいまより市場移転に関する関係局長会議を開催いたします。本日は知事、全副知事、並びにすべての関係局長に御出席いただいております。まずはじめに、小池知事より発言をお願いいたします。

(小池都知事)

皆さん、御苦労様でございます。

一昨日でございますが、臨時の記者会見を開きました。市場の移転問題に関する基本方針ということをお示したところでございます。これまでロードマップに沿いまして、一つ一つステップを踏んでやってまいりました。専門家会議、そして市場問題プロジェクトチームの検証を経まして、そして市場のあり方戦略本部で総点検を行ってきたというのがこれまでの流れであることは、御承知のとおりであります。そして今回の基本方針であります。こうした成果、総点検の成果を踏まえて、私自身が出した考え方でございます。この基本方針を基にいたしまして、市場の移転問題の解決に向け、物事を着実に前に進めていく必要がございます。

つきましては、この基本方針を踏まえた様々な課題を、行政のルールにしっかりと乗せて、具体的な取組につなげていかなければなりません。そうしたことから、今日は関係9局の局長の皆さんに集まっていただきました。そして、4副知事と関係9局の局長ということでございます。そこで行政としての課題の整理をいたしまして、さらにはその速やかな実施について、直接指示させていただきます。

まず、豊洲市場への早期移転でございますけれども、こちらについては全力で取り組んでいただきたい。そして、オリンピック・パラリンピックに向けまして、環状2号線、そして輸送拠点の整備につきまして、至急関係機関と調整に入っていただきたい。それから、もう1つ重要な点でございますが、築地の再開発の課題でございます。築地のロケーションを最大限に生かすために、これはもう本当に東京にとっても最高の場所ということになりますけれども、築地のロケーションを最大限に生かすために、都民の皆さんから広くアイデアを募ります。そして、夢のある築地の姿を導き出してほしいと思っておりますので、その段取りなども準備していただきたいと存じます。

市場の移転問題、基本方針の提示で終わったわけではございません。むしろ、あの時点からスタートラインに立ったとお考えいただければと存じます。そして、それぞれの局が所管する分野、その専門的な立場から、課題を十分に精査していただいたうえで、横の連携を密にして常に事業者の皆さん、都民の皆さんの目線を忘れずに、しっかり取

り組んでいただきたいと存じます。今日のこの会議でありますけれども、是非それぞれが連携を取りながら、縦、横、斜め、それぞれの力を最大限に生かして、そして前へ、行政として進めていただきたいと存じます。

よろしく申し上げます。

(長谷川政策企画局長)

ありがとうございました。

続きまして、中西副知事より御発言をお願い致します。

(中西副知事)

ただいま知事からお話ありがとうございました。一昨日の基本方針を踏まえ、市場移転に関する諸課題について、行政組織として取り組むべき課題を整理し、具体的な取組を速やかに進めるよう、指示をいただいたところです。これを受けまして、私のほうで基本方針を踏まえて推進すべき事項として、課題を整理しましたので、お話しさせていただきます。

お手元に資料があると思いますが、資料をめくっていただきまして、まず（その1）であります。築地市場の豊洲市場への早期移転を円滑に実施するために、追加対策工事や環境アセスメントの手続、農林水産大臣への認可申請など、ロードマップに従って着実に進める必要があります。また、移転に向けて施設の使い勝手の改善を進めるとともに、安全・安心の確保について、都民や事業者への丁寧な説明、風評被害の払拭の取組も進めなければなりません。

続いて、ページをめくっていただきまして（その2）であります。豊洲地区の賑わいの創出についても、関係局と連携しながら精力的に取り組む必要があります。また、オリンピック・パラリンピックに向けては、環状2号線の工事や輸送拠点としての整備に向けた調整を進める必要があります。

さらに（その3）であります。築地ブランドを十分に生かした再開発を進めるために、都民や事業者からの意見聴取、開発コンセプトや開発手法、スケジュールなどを詰めていく必要があります。そして、こうした豊洲移転と築地再開発の全体について、財政収支の観点からしっかりと検討していく必要があります。

こうした様々な課題について、それぞれの局が知恵を出し合って、緊密な連携を図りながら、全庁一丸となって取り組んでいただかなければなりません。豊洲移転に向けては中央卸売市場が、または築地再開発については都市整備局が、それぞれ中心となって、しっかりとした体制をつくって取り組んでいただくよう、よろしくお願いたします。

私からは以上です。

(長谷川政策企画局長)

ありがとうございました。

それでは、ただいまの知事、中西副知事からのお話を踏まえまして、関係局長より御発言をお願いいたします。まず、市場を所管する村松中央卸売市場長、お願いたします。

(村松中央卸売市場長)

まず、基本方針を踏まえて推進すべき事項（その1）にあります、築地市場の豊洲市場への早期移転を円滑に実施するために、中央卸売市場として、市場業者、業界団体とのコミュニケーションを密にして、全力で取り組んでまいります。

最初に、専門家会議で示された追加対策工事については、早急に仕様内容を精査いたしまして、発注手続に入りたいと考えております。このうち、地下ピットの対策については、専門家会議で示された二つの案のうち、工期や工事費の面で優れている第2案を基本といたしまして、年度内の完了を目指して対策工事を進めてまいります。

また、環境アセスメントについても、環境局と調整のうえ、速やかに変更届を提出いたします。あわせて農林水産大臣の認可手続に向けた調整を進めてまいります。同時に豊洲市場の施設の使い勝手の向上策も講じてまいります。

豊洲市場の安全・安心の確保に向けては、先ほどの追加対策工事の実施も含め、客観的な情報や都としての取組を的確に発信するほか、都民向けの見学会の開催など、様々な取組を進めまして、風評被害の払拭を図ってまいります。

市場業者との様々な協議、調整を進めるため、本日この会議の後に、小池知事が築地市場に出向きまして、業界団体の代表者の方々との会談を持つ運びとなっております。これをスタートとして、多岐に渡る事項について調整するとともに、早期に移転開場日を定められるよう、取り組んでまいります。

次に、資料（その2）にあります、豊洲地区の賑わい創出については、非常に重要な課題と考えております。千客万来施設の設置に向け、事業者との調整を進めるとともに、江東区の協力もいただきながら、ぐるり公園の活用など、賑わいづくりに向けた様々な取組を検討してまいります。

以上でございます。

(長谷川政策企画局長)

続きまして、邊見東京都技監、お願いいたします。

(邊見都技監)

築地の再開発ですが、それにあたっては、市場や食に関わる事業者や都民の意見を広くお聞きしていきたいと考えております。あわせて、知事からもありましたように、築地の持つポテンシャルや歴史、地域特性などをしっかり生かしていくことが大事であります。

例えば、築地が培ってきたブランド力、浜離宮などに面する地の利、都心や銀座への近接性、さらには隅田川、築地川、築地川は浜離宮との間の小さな川であります。そういったものに面する水辺、こういったものがあるかと考えております。そのうえで、開発コンセプトなどを具体化していく。どういう開発にしていくかが重要であると考えております。

進め方としては、それらに応じて、都市計画やまちづくりの手法を効果的に活用していくこととなります。民間のノウハウや資金の活用といった視点も必要と思います。いずれにしても、より良いものとなるよう、知事、副知事からもありましたように、関係

各局とも連携して取り組んでいきたいと考えております。
以上です。

(長谷川政策企画局長)

ありがとうございました。
続きまして、武市財務局長、お願いいたします。

(武市財務局長)

本日のこの基本方針と御指示を踏まえて、財務局の役割としては、多角的な検証を通じて、市場会計の長期にわたる持続可能性を確保することに意義があると考えております。

その中でまず、豊洲に関しては、企業債の償還を確実に行うことが必要でございます。そのために無駄の徹底的な排除、あるいは増収努力など、当面の経営改善策を具体化していくとともに、中長期的な経営改善策についても、市場当局とともに考えていきたいと思っております。

また、築地に関しては、お話にも出ているように、非常に好立地の条件を有しております。その中で、どのような再開発のスキームが出来るのか、またどのような形で民間の力も借りて収入を確保できるのか、そういった面を、都市整備局をはじめ関係局と連携しながら収支面での検討を進めてまいります。

こうした点を踏まえながら、市場会計が自主独立した形で長期にわたって事業継続できるように資金面、財政面からしっかりと精査を行ってまいります。

(長谷川政策企画局長)

ありがとうございました。
続きまして、西倉建設局長、お願いいたします。

(西倉建設局長)

まず、環状第2号線については、地上部道路による東京2020大会までの開通に向けて、関係各局と関係機関との調整に努めてまいります。今後、市場の移転時期や築地再開発などの状況を踏まえて、整備方法などを検討いたします。

また、築地と隣接する浜離宮恩賜庭園については、その立地特性も踏まえて、築地のブランド力との相乗効果が発揮できるよう、各局と連携しつつ更なる魅力向上に取り組んでまいります。以上です。

(長谷川政策企画局長)

ありがとうございました。
それでは、ただいま関係局長より課題に対する今後の進め方などについて発言がございましたが、この際ですので、皆様何かございますでしょうか。
安藤副知事、どうぞ。

(安藤副知事)

今は関係局長全員が発言ということではないのですが、関係局の集まりというのは、課題で提示された以外にもそれぞれ大きな役割があると思いますので、そこはしっかりやっていただきたいと思います。

それから、関係局として集まっていますが、これ以外にも、例えば供給処理施設なども含めて、都庁の皆それぞれが関係するので、先ほど来、知事と中西副知事から発言があったように、やはり連携とスピードが大切だと思います。今日は副知事4人も入っております。都庁をあげてしっかり取り組んでいきたいと思っておりますので、ここにいる方、いらっしゃらない方も含めて連携を密に今後やっていきたいと思っております。

また、体制づくりと先ほど中西副知事から発言がありましたが、これもどういうものが一番いいのか、少し知恵を出し合ってやっていく必要があるかと思っております。この辺は川澄副知事かもしれませんが、よろしくお願ひします。

以上です。

(長谷川政策企画局長)

ありがとうございました。

他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、最後に知事から一言お願ひ申し上げます。

(小池都知事)

先ほど申し上げましたように、これからがまさしくスタートになります。そして、それぞれ連携して行うことでスピード感を出すことができるかと存じます。そこで、先ほど中西副知事、安藤副知事からもお話がありましたように、しっかりとした体制を作つて、そしてそれぞれの分野で責任を明確にしながら、かつ横の連携を取りながら進めていきたいと考えていますので、よろしくお願ひいたします。

基本方針を踏まえて、課題や論点がまだまだ出てくるかと思ひますが、一つずつ課題や論点を共有しながら進めてまいりたいと思ひています。そして、相互に関係する事項が沢山ありますので、そういう意味でも横串というのが極めて重要かと思ひます。それと、先ほど追加工事についての考え方といひましようか、選択について市場長から話がありました。地下空間の対応方法として示されていた案、そしてそれに伴つて様々な手続が具体的にすぐ必要になってくるかと思ひますので、早速取り組んでいただきたいと思ひます。いずれにいたしましても、この市場移転に関する関係局長会議、必要な時にまた、必要に応じて開いていきたいと思ひしておりますので、精力的にそれぞれまずは取り組んでいただきたいと存じます。よろしくお願ひします。

(長谷川政策企画局長)

ありがとうございました。

それでは、市場移転に関する関係局長会議をこれで閉会とさせていただきます。本日はお疲れ様でございました。

(以上)